

令和6年度 第1回協働のまちづくり推進委員会 会議録

日時	令和6年6月24日（月） 13：30～17：00
場所	とみさと市民活動サポートセンター 市民活動ブース1・2
出席委員	清水会長、小川副会長、岡野委員、荒居委員、石井委員、宇井委員、武重委員、瀬良委員、牧野委員、朝倉委員
欠席委員	新委員、秋葉委員
事務局	市民活動推進課 小川課長、吉田、渡辺、森久保 まちづくりコーディネーター 佐藤
傍聴者	0名

[会議次第]

1 開 会

2 委嘱状交付

3 会長挨拶

4 議 題

(1) 富里市市民活動支援補助金審査会

(2) 答申について

(3) 第2次富里市協働のまちづくり推進計画の取組に対する総括意見（案）の作成について

(4) 令和6年度富里市消費者行政推進連絡協議会委員の推薦について

(5) その他

5 そ の 他

(1) 実施事業及びとみさと市民活動サポートセンターについて

(2) その他

6 閉 会

[会議概要]

	次第2 委嘱状交付 富里市区長会の役員改選により、中野委員から瀬良委員に交代。瀬良委員に委嘱状交付。
会長	次第4 議題 －「協働のまちづくり推進委員会の運営に関する要綱」第3条第1項により、会長が議事の進行を務める－ (1) 富里市市民活動支援補助金審査会について、審査会の前に必要事項の確認をします。事務局から説明をお願いします。
事務局	・補助金予算額40万円に対し、申込額の合計は62万2千円。富里市市民活動支援補助金交付要綱第9条第3号の規定により、平均点を超えた場合でも不採択になる場合や、申込額を下回る金額で採択する場合がある旨説明。 ・審査方法について確認。 ・とみさとトイズクラブについては、プレゼンテーション予定者が感染症により欠席となるため、書類審査のみ。 不明な点がございましたら、この場でお願いします。
A 委員	委員の役割として、絶対評価をするのか、順位をつけるのか、採点だけすればよいのか、また、予算を超えている部分について、誰が調整するのか、委員は評価だけすればよいのか、説明をお願いします。
事務局	審査の方法については、委員の皆様へ採点いただいた後、平均点を出し、その結果により順位を付け、答申していただきます。最終的には、市の判断で決定いたしますので、まずは書類とプレゼンテーションを見て審査いただければと思います。
A 委員	審査結果により、交付予定額を一律のパーセンテージでカットするのか、判断の過程があると思いますが、そこは市民活動推進課で行われるのですか。
事務局	昨年度の例で言うと、順位をもとに上位から申込額を満額で付けていき、最後の団体については、申込額満額ではない補助額でも事業の実施が可能か市民活動推進課でヒアリングを行い、調整しました。

B 委員	以前は、均等割りで減らしたこともありましたが、今回は、「上位から満額で出していきましょう」とみんなで話し合って決めました。
会長	ほかに何かございますか。
C 委員	40万円は、1期募集のみの予算ですか。それとも年間の予算ですか。
事務局	令和6年度の予算となっていますので、今回、全ての事業が採択された場合は、2期の募集はありません。
D 委員	今回の募集について、40万円の予算を超えた時点で募集を締め切ることとはしなかったのですか。
事務局	申込みの時点では、制限は設けておりません。内容を見ての判断となります。
会長	平均得点が15点に満たない事業には、予算が余っていても補助できませんので、15点が一つの判断の目安になるかと思います。 私から改めて何点か確認します。 1点目は、委員の皆様の中で、応募団体の関係者（役員）の方がいらっしゃいましたら、審査から外れていただきます。 2点目として、質問については、公正な立場から、団体活動や応募企画事業そのものを否定するもの、指導的な発言は、謹んでいただければと思います。また、質問時間も限られていますので、質問事項は、簡潔にお願いします。 傍聴については、プレゼンテーションは全て公開、採点の集計結果や答申内容は、個人情報に関わることから、非公開とします。 ほかに確認したいことがなければ、審査会を開始します。 －補助金審査会－ 1. 谷津みらいの会 2. 富里親心会 3. とみさとトイズクラブ 4. smile charge 5. とみさとウォーターパーク実行委員会 6. Dream Land Circus with Bad Company

会長	(2) 答申について 答申結果について、事務局から説明をお願いします。
事務局	－審査結果を読み上げ－ この後、会長から答申についてお諮りいただきますが、補助金は予算の範囲内となることから、選定の答申をされた場合でも不採択または、申込額を下回る額での採択となる場合がございますので、委員の皆様におかれましては、審査結果について公表することは控えていただくようお願いいたします。
事務局	ありがとうございます。審査要領第4の規定により、各委員の採点を集計した内容を審査結果として書面で答申してよろしいでしょうか。
各委員	－よい－
会長	審査会の方法について、来年度も審査会を行いますので、気が付いた点などございましたら、御意見いただければと思います。
E 委員	今回選定された内容がイベントばかりなのが、気になりました。また、申込書を読んでも分からない内容が多かったです。スケジュールを書く項目があると事業が分かりやすくなるのではないかと思います。何をいつ実施するのか、明確にした方がよいです。実施する内容を明確に書くことで、実効性が高まります。 4月の事業から補助対象になっているので、申込の締め切りを早めて、審査する側にもう少し早く書類を送付していただけると不明な点を質問できます。事務局は、審査会の前に質問をまとめて団体に提示し、団体は質問に答える形で審査会でのプレゼンテーションするのによいと思いますし、事前に質問に答えるという方法もあると思いますので、何かしらの工夫が必要だと思います。 採択された団体については、実績報告書の様式を早めに送付し、「この様式で報告いただきます」と事前に渡しておくと、実施団体にとっては分かりやすいと思います。
F 委員	審査会で質問をしたい箇所が何か所かありましたが、時間が足りずに質問できなかったのもので、E委員が提案してくれたのだと思います。 質問によって加点なども変わってくる可能性があるのもので、質問時間が足りなかったことは、残念でした。時間の配分もあると思いますので、質問時間が確保できないのであれば、事前に質問事項をまとめていただければ、より公平な採点ができると思います。

B 委員	私も質問時間が短いと思うので、例えば、午前中に集まって、委員会として質問する事項をまとめてもよいかと思いました。
A 委員	補助年度は単年度ですが、過去の事業や将来どのようなことをするか分からないと、判断できない事業もあると思います。あとは、もう少し書類を見る時間がほしかったです。深い質問を1つすると5分では足りません。また、上位から満額付けるのか、平均して何パーセント削るのかなど、今後、検討していく必要があると思います。
会長	ありがとうございます。補助について、単年度で見るのか、複数年度を見越して申請したものを考慮して、評価の対象にするのか、来年度に向けて検討していく必要があると思います。
C 委員	継続性はもっともだと思いますが、税金を使っているということを意識していないと思います。毎年続けて申請している事業は、税金を当てにしていると思いますが、団体自ら資金を調達したり、事業を見直したりすることも大切だと思います。
B 委員	事業がイベント化してしまい、市民活動とかけ離れてきている気がします。
F 委員	谷津の整備をしている団体は、炭を商品化できれば活動資金につながると思います。活動のために資金を生む方法も取り入れていただければと思います。
会長	団体へのフィードバックをどうするかということがあります。自治体によっては、審査会で委員の皆様から出た意見をまとめて、採択された団体にも伝えるし、不採択の団体にも不採択理由を伝えているところもあります。富里市では、例年フィードバックはしていないので、来年度に向けて検討できればと思います。
A 委員	協働と言っていますので、市がやりきれないところを市民が手をあげてやろうとしている事業については、補助金でサポートできればよいと思います。持続性を持ってやっていただく事業もありますので、予算についても40万円が妥当なのかという部分もあります。
D 委員	募集要項では応募期間が4期書かれていますが、現在の状況だと、年度途中でやりたいことができて、補助金に応募できません。

B 委員	長いこと関わっている立場から言うと、当初は予算が100万円ありました。団体は、活動資金の事業として使うが多かったので、1回目の募集だけでは予算を超えることがなかったので、2回目、3回目と募集をかけていました。その後、予算額が減ってきて、1回目で予算額を超えることが多くなってきたので、募集の部分だけが残ってしまい、1回目で終了というように見えてしまっているだけです。当初は、追加募集という形で出していたと思います。誤解がないようにするためにも、募集要項の文言を考えた方がよいと思います。
会長	募集要項も実情に合わなくなっているということですね。
E 委員	年度の後半で何かしようと思っている団体については、市の補助金だけが全てではありません。秋には、来年の4月からの事業について民間の助成金の募集が始まります。数多くの助成金がありますので、不採択になった団体にも、事業内容に沿った助成金を案内できるとよいと思います。市の予算を使わず、外から助成を受ける団体が増えれば、市も豊かになってきます。団体にとっても、市民にとってもよいことです。サポートセンターの仕事のひとつは、このようなことだと思っています。どんどん助成金を紹介して、金額の低い助成金に申し込む際に「書類が面倒だ」と言われても書いていくことが大切です。これをやっていくと金額が高い助成金にもアプローチしていくことができます。
会長	ありがとうございます。ほかの委員の皆様も家に帰って思いついたことがあれば、事務局に伝えていただき、事務局で集約したものを今後の委員会で議題にしていいただければと思います。 以前、コラボ部門がありましたが、申込みがなかったため部門をなくしたら、今回複数の団体がコラボで申込みがあったり、コロナが終わって活動を再開し、新しいものができたりしていますので、補助金を見直すよい時期かと思います。来年度に向けて、委員会できちんと議論できたらと思います。 次の議題に移ります。 (3) 第2次富里市協働のまちづくり推進計画の取組に対する総括意見(案)の作成について 事務局で皆様からいただいた意見をまとめていますので、事務局から説明をお願いします。
事務局	ー総括意見(案)について説明ー

会長	事前に資料は送付していますので、皆様、内容は読んでいただいていると思いますが、何か御意見はございますか。
各委員	－特になし－
会長	それでは、素案を正案としてよろしいでしょうか。
各委員	－よい－
会長	ありがとうございます。 次の議題に移ります。
	(4) 令和6年度富里市消費者行政推進連絡協議会委員の推薦について事務局から説明をお願いします。
事務局	－令和6年度富里市消費者行政推進連絡協議会委員の推薦について－
会長	消費者行政推進連絡協議会委員について、立候補または推薦はございますか。
小川委員	毎年、消費者行政推進連絡協議会で話しあった議題について、推進委員会で共有しています。できれば立候補したいのですが、いかがでしょうか。
会長	ただいま、小川委員が立候補をされましたが、委員の皆様いかがでしょうか。
各委員	－拍手－
会長	それでは、小川委員を推薦いたします。 次の議題に移ります。
	(5) その他 何か議題として議論することはございますか。
各委員	－特になし－
会長	ないようなので、進行を事務局にお返しします。

事務局	ありがとうございました。 5 その他 (1) 実施事業及びとみさと市民活動サポートセンターについて 各担当から説明します。 ・令和6年度事業予算及び事業内容等について ・令和5年度市民活動支援補助金の実績報告について ・若者プロジェクトについて ・とみさぼニュースレター Vol. 33 ・コーディネーターのちょこっとセミナー ・まちづくり交流会「さぼカフェ」 ・「みんなでボランティア体験！」参加者募集 ・とみさと市民活動サポートセンターの利用状況 その他について、何かございますか。
会長	補助金審査について、A 委員から複数年度に渡る事業のお話がありましたが、2回目・3回目の団体の審査については、前回の補助金による事業の実績報告書を出していただくというのもありかと思います。 複数年度申請する事業については、過去の成果も踏まえての申請・位置付けになるかと思います。審査の判断材料のひとつとして、実績報告を事前に資料として出すことも検討事項として入れていただければと思います。
事務局	その方向で検討いたします。 ほかにはよろしいでしょうか。 次回の会議は、8月下旬を予定しています。以上をもちまして、令和6年度第1回協働のまちづくり推進委員会を閉会します。 (閉会)